第３部
神奈川県の率先実行の取組

神奈川県の率先実行の取組

神奈川県では、平成13年３月、環境マネジメントシステムの国際規格である「ISO14001」の認証を本庁において取得し、その後出先機関等に順次認証範囲を拡大し、平成19年度には警察まで拡大し、全ての県機関が認証範囲となっています。

ISO14001は、環境に配慮した取組を継続的に改善する仕組みになっていることが特徴です。

知事が定めた環境方針に基づき、目的・目標を定め、これらを達成するため、行動計画「環境マネジメントプログラム」（７つの個別プログラムで構成）を作成しており、このプログラムをもとに、日常活動や業務を環境に配慮しながら進め、その進捗状況を定期に点検し、見直しています。

この仕組み（PDCAサイクル）に基づき毎年取組を進めることにより、継続的に日常活動や業務が改善され、環境に配慮した活動になっていきます。

ここでは、平成20年度における各プログラムの取組状況（進捗状況）を報告します。

1 グリーン購入の拡大と廃棄物の削減に向けた率先実行プログラム

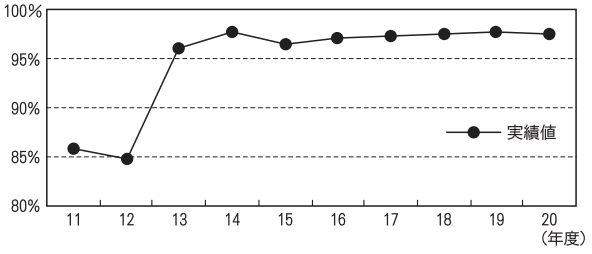
このプログラムは、物品を購入して、事務事業活動を行い、廃棄物となって排出するという一連の流れの中で環境配慮を行い、グリーン購入、廃棄物の発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）を進めています。

▶表3-1 平成20年度目標と実績

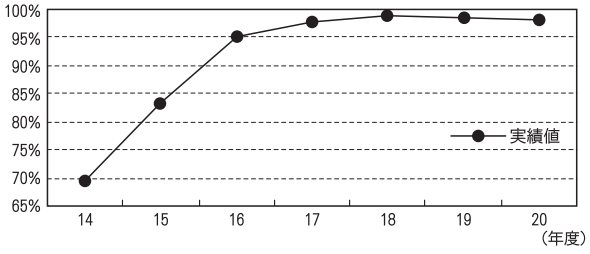
取組項目	目　標	実　績
本庁の経常物品のグリーン購入率の向上	☆	98.5%
出先機関等のグリーン購入率の向上	☆	98.4%
警察のグリーン購入率の向上	95.0%	92.0%
低公害車の購入率の維持（ただし、特殊車、特種車及び二輪車を除く）	☆	100%
本庁の印刷物の再生紙等利用率の向上	☆	99.5%
出先機関等の印刷物の再生紙等利用率の向上	100%	99.7%
警察の印刷物の再生紙等利用率の向上	100%	100%
本庁の廃棄物発生量の削減	☆	603 t
本庁のリサイクル率の向上	☆	92.2%
出先機関等の廃棄物発生量の削減	☆	5,232 t
出先機関等のリサイクル率の向上	52.0%	51.7%
警察の廃棄物発生量の削減	1,804 t	1,779 t
警察のリサイクル率の向上	27.9%	38.5%
本庁のコピー用紙使用量の削減	☆	8,570万枚
出先機関等のコピー用紙使用量の削減	☆	13,507万枚
警察のコピー用紙使用量の削減	☆	10,502万枚

☆印は維持管理項目（実績数値は把握するが、新たな数値目的・数値目標は設定しない項目）

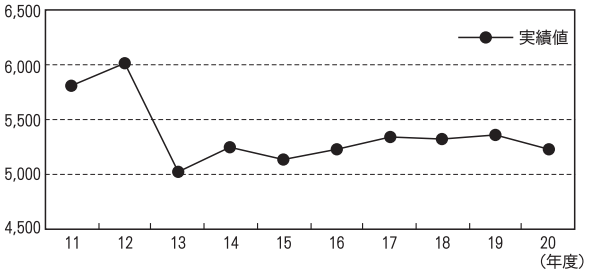
▶図3-1 本庁の経常物品のグリーン購入率(%)の推移



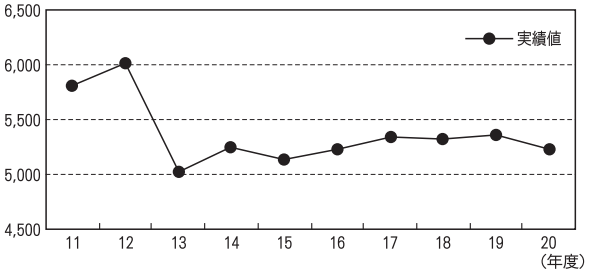
▶図3-2 出先機関等のグリーン購入率(%)の推移



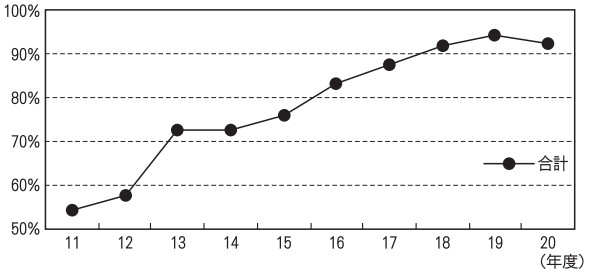
▶図3-3 本庁の廃棄物発生量(t)の推移



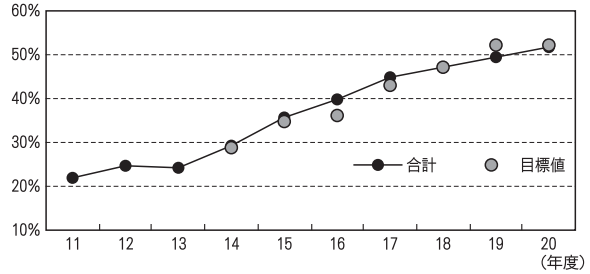
▶図3-4 出先機関等の廃棄物発生量(t)の推移



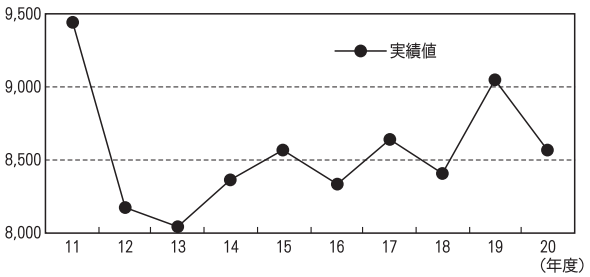
▶図3-5 本庁のリサイクル率(%)の推移



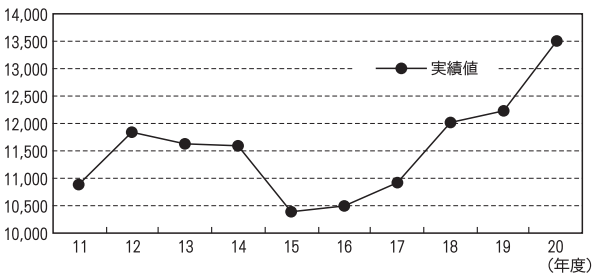
▶図3-6 出先機関等のリサイクル率(%)の推移



▶図3-7 本庁のコピー用紙使用量(枚数)の推移



▶図3-8 出先機関等のコピー用紙使用量(枚数)の推移



2 地球温暖化防止に向けた率先実行プログラム

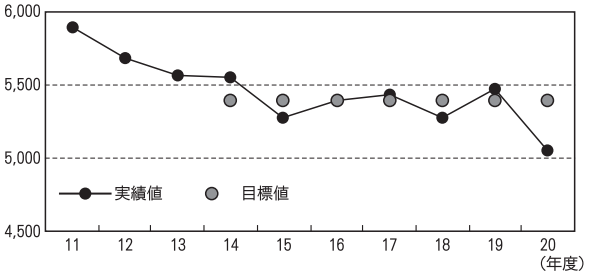
このプログラムは、温室効果ガス総排出量に大きく関与する各庁舎のエネルギー使用量の削減、浄水場のエネルギー使用量の削減、道路照明への省エネルギー型の照明ランプの導入などを進めています。

▶表3-2 平成20年度目標と実績

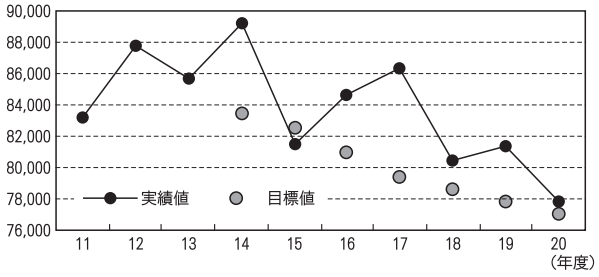
取組項目	目　標	実　績
本庁の温室効果ガス排出量の削減	5,400 t	5,049 t
出先機関等の庁舎の温室効果ガス排出量の削減	77,000 t	77,825 t
寒川浄水場　送水量当たりの温室効果ガス排出量の削減	120 t /百万㎥	118 t /百万㎥
谷ヶ原浄水場　送水量当たりの温室効果ガス排出量の削減	108 t /百万㎥	109 t /百万㎥
道路照明１本当たりの温室効果ガス排出量の削減	349kg/年・本	346kg/年・本
警察の庁舎の温室効果ガス排出量の削減	27,031 t 以下	27,600 t
本庁の水道使用量の削減	☆	6.1万㎥
出先機関等の水道使用量の削減	☆	197.8万㎥
警察の水道使用量の削減	78万㎥	74.1万㎥

☆印は維持管理項目（実績数値は把握するが、新たな数値目的・数値目標は設定しない項目）

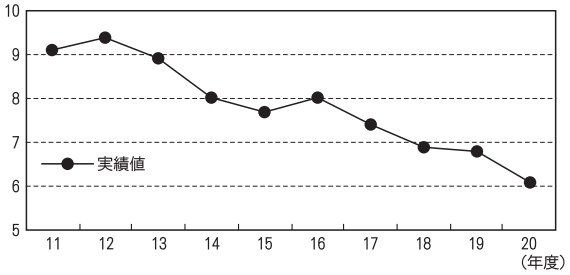
▶図3-9 本庁の温室効果ガス排出量(t)の推移



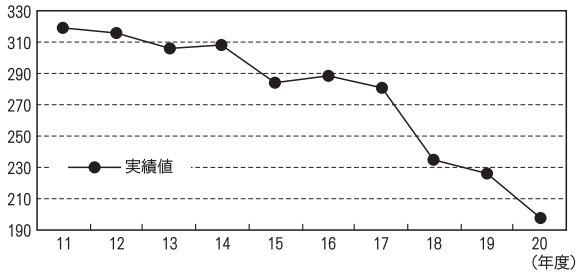
▶図3-10 出先機関等の庁舎の温室効果ガス排出量(t)の推移



▶図3-11 本庁の水道使用量(万㎥)の推移



▶図3-12 出先機関等の庁舎の水道使用量(万㎥)の推移



3 化学物質等の適正管理プログラム

このプログラムは、化学物質等による環境負荷を軽減するため、法律等で規制されている物質や機器などについて、法を遵守し、より環境負荷を軽減できるよう自主的な対応を進めています。

4 環境配慮型、環境創造型公共工事の推進プログラム

このプログラムは、公共工事の構想・計画段階、実施設計・積算段階、発注段階、工事段階、検査段階の各段階における環境配慮を進めるため、仕様書や現場説明書における環境配慮項目の拡大、工事の各段階におけるチェックリストの作成や見直し等を行い、環境配慮型、環境創造型工事を進めています。

また、グリーン資材調達の推進やリサイクル率の向上に努めており、主要な資材等については目標を定め実績把握を行っています。

▶表3-3 平成20年度目標と実績

取組項目	目　標	実　績
再生砕石の利用率の向上	☆	83.5%
再生アスファルト合材の利用率の向上	☆	60.9%
コンクリート塊のリサイクル率の向上	☆	99.9%
アスファルト・コンクリート塊のリサイクル率の向上	☆	100%
建設発生木材のリサイクル率の向上	95.0%	98.0%
環境創造型、環境配慮型公共工事の情報発信数（発信所属数）	50所属	53所属

☆印は維持管理項目（実績数値は把握するが、新たな数値目的・数値目標は設定しない項目）

5 環境基本計画

神奈川県の環境分野における基本的な計画である環境基本計画に位置づけているプロジェクトを進めています。また、これらの進捗状況について、環境審議会や県民による点検に加え、内部監査・外部審査による点検などを実施し、より効果的に進めています。

6 環境に視点をおいた本来業務の改善プログラム

このプログラムは、環境に視点をおいた本来業務の改善に向けて、各所属一つ以上のプログラムを作成し、実施しています。

平成13年度からは、各所属の取組の中で良い事例を「クローズアップ優秀事例」としてISO14001の内部監査員が評価して公表しています。

●平成20年度　クローズアップ優秀事例（抜粋）

○小田原土木事務所では、県産間伐材の有効活用を図るため、箱根地区において県産間伐材を使った木製ガードレールや道路工事表示看板を設置した。木製ガードレールは、１本の丸太を縦に３つに割って作成されていて、残材が発生せず無駄なく木材を活用し、既設のガードレールに貼り付ける構造としたことで、安価で早く施工することが可能となった。これは全国でも初の取り組みといえる。これらの取り組みを国際観光地・箱根で実施したことで、環境に配慮しながら箱根の景観イメージアップを図り、全国紙各紙を始め多くの新聞やラジオで取り上げられたことで、県産間伐材の需要促進のPRに大きく貢献した。（小田原土木事務所）

○川崎高校では、生徒の多様な学習ニーズや進路希望に対応し、興味・関心に応じた特色ある教育活動を展開するために教科横断的な学習のまとまりとして「環境系」を設置している。この系の教育目標を更に体現していくために、ビオトープと実習用水田の造成に取り組んできた。このビオトープについては、地下水や太陽光発電を活用するなど環境に配慮するとともに、環境委員の生徒がPTA等の協力を得て１～２か月かけて手作業で造成し、平成20年３月に完成した。ビオトープ内の動植物も順調に成長しており、７月には、大賀ハス（古代ハス）が開花するに至っている。こうした、自然や環境に接する体験を通じて生命と環境の関係などに理解を深めるとともに、環境問題に主体的に関わり、積極的に解決していこうとする態度と能力を育てている。このビオトープ水は、地下水を太陽光発電で生じる電力で揚水ポンプでくみ上げ、池の溢水を浸透枡から地下水層に戻すことにより、半開放循環系を構成させており、環境系の教科に活用されている。また、川崎高校ではビオトープの完成時（３月）と、大賀ハス（古代ハス）の開花時（７月）に記者発表を行い、地域住民をはじめとした県民に対し来校を案内しており、良い取組を積極的に広報している。（川崎高等学校）

○寒川浄水場では、地球温暖化防止（省エネルギー、環境負荷の低減）の観点から小水力発電設備の利用の促進を図り、クリーンエネルギーである小水力発電設備について広く県民に理解していただくため、パンフレットなどを使い、積極的にアピールしている。寒川浄水場で作られた水は送水ポンプにより配水池へ送られ、そこから流域の県民へ配水しているが、配水池に設置する小水力発電設備は、送られてきた水道水に残っている未利用エネルギーを有効利用して、クリーンな発電を行っている。この設備を稲荷配水池に神奈川県営水道事業として初めて設置し、発電した電気を配水池に併設されているポンプ所で使用することにより、購入する電力を削減し環境負荷の低減を図った。（寒川浄水場）

7 環境保全及び創造に関する情報提供と教育及び学習の推進プログラム

このプログラムは、環境保全及び創造に関する情報提供と教育及び学習の推進のため、各所属において積極的に実施しています。

▶表3-4 平成20年度目標と実績

取組項目	目　標	実　績
マイアジェンダ登録学校数	840校	490校
ホームページ「かながわの環境」のアクセス数の向上	100万件／月	134万件／月

URL 「環境マネジメントシステム」
http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/iso/index.htm